

スタートアップ・トレード・セミナー
利益をたたき出すトレードルールの作り方

スタートアップ・トレード・セミナー

利益をたたき出すトレードルールの作り方

(C)2014トレードエイド

利益をたたき出すトレードルールの作り方

目次

第1章 基本戦略

- 1-1. 相場の局面の推移を活用
- 1-2. 上昇トレンドでの基本戦略
- 1-3. 下降トレンドでの基本戦略
- 1-4. 保合い(トレンドレス)での基本戦略
- 1-5. 相場の波に乗り続けるための基本戦略

第2章 移動平均線を使う

- 2-1. 移動平均線の見方
- 2-2. 短期移動平均線を使ったトレード方法(買い)
- 2-3. 短期移動平均線を使ったトレード方法(売り)
- 2-4. 2本の移動平均線を組み合わせてわかる事
- 2-5. ティルト転換の判断
- 2-6. 移動平均線を使ったトレード方法

第3章 ボリンジャーバンドを使う

- 3-1. ボリンジャーバンドとは何か
- 3-2. バンド幅は相場変動率を表す
- 3-3. 各バンドの価格帯は市場参加者の分布を表す
- 3-4. 実勢価格の位置が意味する事
- 3-5. 相場の値動きが加速する理由
- 3-6. 相場の局面と各 σ ラインの関係
- 3-7. ボリンジャーバンドを使ったトレード方法

第4章 一目均衡表を使う

- 4-1. 一目均衡表とは何か
- 4-2. 転換線・基準線の持つ意味
- 4-3. 転換線・基準線を使った局面の把握
- 4-4. 遅行スパンとは何か
- 4-5. 周期
- 4-6. 一目均衡表を使ったトレード方法

第5章 利益をたたき出すトレードルールを作る10の鍵

利益をたたき出すトレードルールの作り方

- 第1の鍵 「複数のテクニカル指標を組み合わせる」
- 第2の鍵 「長短のタイムフレームのチャートを組み合わせる」
- 第3の鍵 「時間的要素は必ず加味する」
- 第4の鍵 「終値で判断する」
- 第5の鍵 「ゾーンで仕掛けて、ゾーンで手仕舞い」
- 第6の鍵 「トレンド終了から仕掛ける」
- 第7の鍵 「タイムフレームが出来るだけ長い足を使う」
- 第8の鍵 「利益確定か損切りかは相場が決める」
- 第9の鍵 「機能する支持抵抗線を使う」
- 第10の鍵 「ファンダメンタルズは無視せよ」

利益をたたき出すトレードルールの作り方

1. 基本戦略

相場の価格の動きを描画したチャートを見ると、相場には「一定期間上昇を続けているとき」、また、「同じく下降を続けているとき」、更に、「上昇か下降がよくわからない動きをしているとき」の3種類の局面がある事が分かります。

この3種類の局面が次々と現れては消えることを繰り返すことで、チャート上の価格の動きの軌跡は周りより高い部分である「山」や同様に低い部分である「谷」を描く曲線になります。

もし、この山や谷ができるタイミングと位置に何らかの規則性がある事が分れば、この規則性を利用して優位性のあるトレードを行う事が可能になります。

従って、このセミナーでは、この規則性を見つけてトレードすることを基本戦略とし、その方法を解説する事とします。

1-1. 相場の局面の推移を活用

上述の通り、相場には、大別すると、①一定期間価格が上昇する「上昇トレンド」、②同じく下降する「下降トレンド」、③同じく、上昇か下降か判然としない「保合い(=トレンドレス、レンジ相場、ボックス相場)」の3つの局面があります。

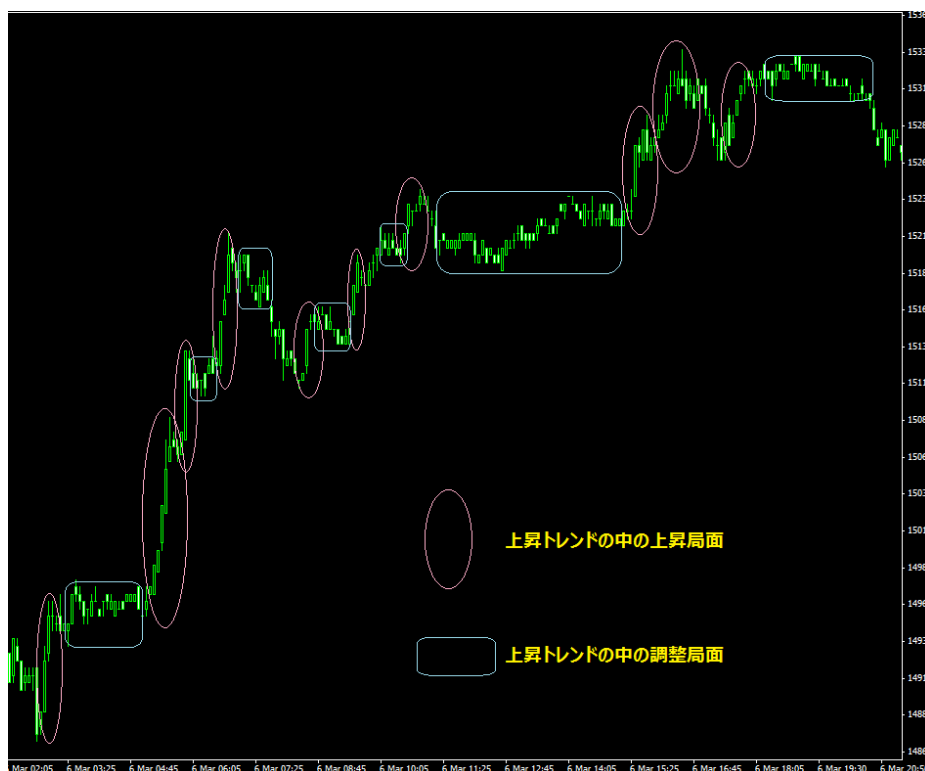
また、上昇や下降トレンドが発生している時には、往々にしてそのトレンドと反対方向に動く短い調整局面が現れます。そして、この調整局面が終了すると、元のトレンドが再開します。

これらの短い調整局面も含めると、相場には次の5つの局面がある事になります。

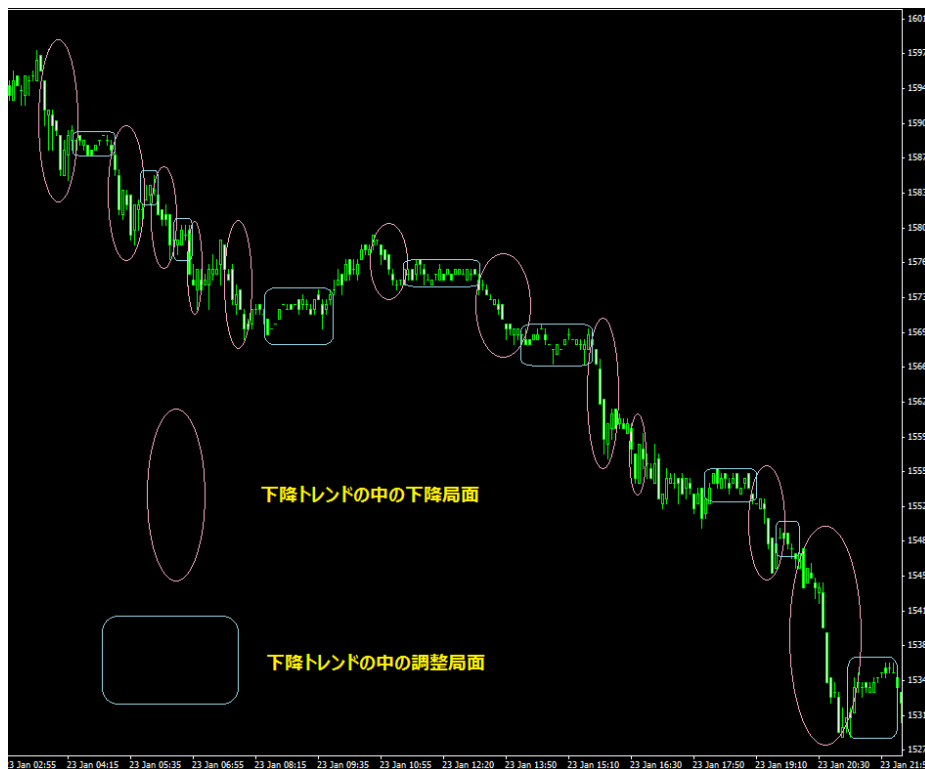
- ◆ 上昇トレンドの中の上昇局面
- ◆ 上昇トレンドの中の調整の下降局面(=押し目)
- ◆ 下降トレンドの中の下降局面
- ◆ 下降トレンドの中の調整の上昇局面(=戻り)
- ◆ 保合い(=トレンドレス、レンジ相場、ボックス相場)

【上昇トレンドのチャート】

スタートアップ・トレード・セミナー
利益をたたき出すトレードルールの作り方



【下降トレンドのチャート】



【保合いのチャート】

スタートアップ・トレード・セミナー

利益をたたき出すトレードルールの作り方



それぞれの局面は一定の期間が経過すると終了し、次の局面が始まります。

従って、まず、現在発生している局面が上の5つのうちいずれのものかを把握し、その局面の終息を確認できれば、次にやってくる局面の初期段階で仕掛けることができます。

即ち、現在の局面が**上昇トレンド**なら、まずは、**買い追従に優位性**があります。そして、**高値更新が途絶えれば、買いは一旦手仕舞い**です。更に、**次の局面は保合いか短い調整局面を含む下降トレンド**ですから、**次の仕掛けは少なくとも「売り」に優位性**がある事が分かります。

また、現在の局面が**上昇トレンドの中の調整の下降局面**なら、**次の局面は上昇トレンド**ですから、**次の仕掛けは「買い」に優位性**がある事が分かります。

次に、現在の局面が**下降トレンド**なら、まずは、**売り追従に優位性**があります。そして、**安値更新が途絶えれば、売りは一旦手仕舞い**です。更に、**次の局面は保合いか短い調整局面を含む上昇トレンド**ですから、**次の仕掛けは少なくとも「買い」に優位性**がある事が分かります。

また、現在の局面が**下降トレンドの中の調整の上昇局面**なら、**次の局面は下降トレンド**ですから、**次の仕掛けは「売り」に優位性**がある事が分かります。

利益をたたき出すトレードルールの作り方

そして、現在の局面が保合い(トレンドレス)なら、次の局面は上昇トレンドか下降トレンドです。保合いレンジを放れた方へついて行けば優位性がある事が分かります。

以上のように、局面が変わるたびに、上の判断と仕掛けを繰り返すことで、相場の流れについて行くことができます。たとえ、判断が間違っていて損切になったとしても、その次の判断はより確実性の高いものとなります。同じ局面が永遠に続くことはありませんから。

1-2. 上昇トレンドでの基本戦略

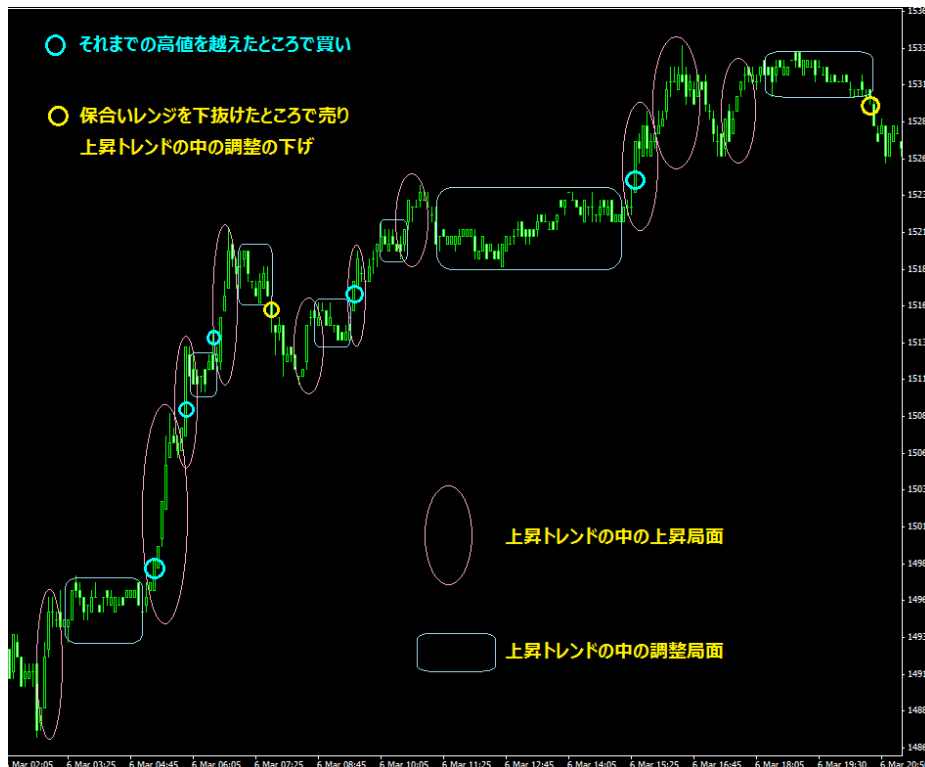
上昇トレンドとは、ローソク足の高安値が一定期間連続して切り上がっていく状態を言います。従って、上昇トレンドが続いていると、それまでの高値よりさらに高いところでも買いが入ります。この状態が続いている限りは、少なくとも、前のローソク足の高値を次々と更新している限りは、買いを仕掛けることが優位性の高いトレードを行うための必須条件です。

もし、一定期間経過後に、それまでの高値を更新しなくなると、上昇トレンドがそろそろ終了するか、短い調整局面入りする可能性が出てきていると判断すべきです。更に、安値を切り下げるような動きが出れば、ホールドしている買い玉を一旦は決済し、新規の買い仕掛けは見送るべきであり、同時に打診的に売りを仕掛けることを考えるべきです。

そして、安値を次々と更新するようであれば、それは下降トレンドへ局面が移行したことになります。下降トレンド開始まもなくの時点で、売り玉を建てることのできたことを意味します。こうなれば、打診売りに加えて、本格的に売り玉を追加すべきです。

また、しばらく下落が続いて、再び上昇が始まる様であれば、そこが打診買い(=押し目買い)のポイントです。そして、それまでの高値を抜いてくるようであれば、上昇トレンドの中の短い調整局面が終了し、上昇トレンドの上昇局面が再開したと判断できます。追撃買いを仕掛けるポイントです。

利益をたたき出すトレードルールの作り方



1-3. 下降トレンドでの基本戦略

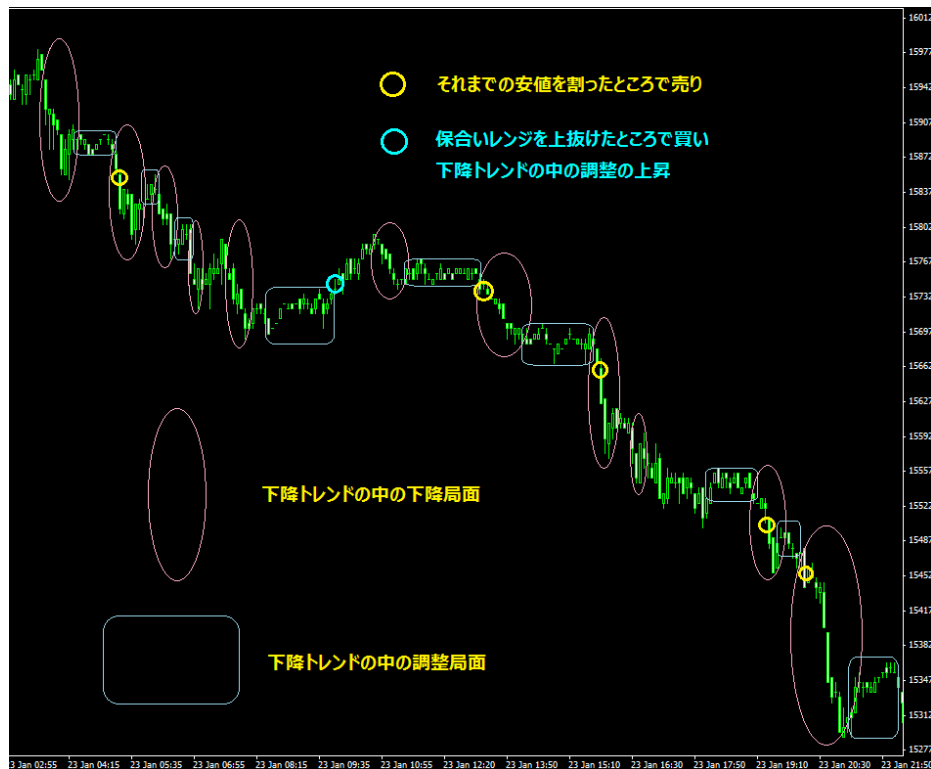
下降トレンドとは、ローソク足の高安値が一定期間連続して切り下がっていく状態を言います。従って、下降トレンドが続いていると、それまでの安値よりさらに安いところでも売りが入ります。この状態が続いている限りは、少なくとも、**前のローソク足の安値を次々と更新している限りは、売りを仕掛ける**ことが優位性の高いトレードを行うための必須条件です。

もし、一定期間経過後に、**それまでの安値を更新しなくなると、下降トレンドがそろそろ終了するか、短い調整局面入りする可能性**が出てきていると判断すべきです。更に、**高値を切り上げるような動きが出れば、ホールドしている売り玉を一旦は決済し、新規の売り仕掛けは見送るべきであり、同時に打診的に買いを仕掛けることを考えるべきです。**

そして、**高値を次々と更新するようであれば、それは上昇トレンドへ局面が移行した**ことになり、上昇トレンド開始まもなくの時点で、**買い玉を建てる**ことができたことを意味します。こうなれば、打診買いに加えて、本格的に**買い玉を追加**すべきです。

また、しばらく上昇が続いて、再び下落が始まる様であれば、**そこが打診売り(=戻り売り)のポイント**です。そして、**それまでの安値を抜いてくるようであれば、下降トレンドの中の短い調整局面が終了し、下降トレンドの下降局面が再開**したと判断できます。追撃売りを仕掛けるポイントです。

利益をたたき出すトレードルール の 作り方



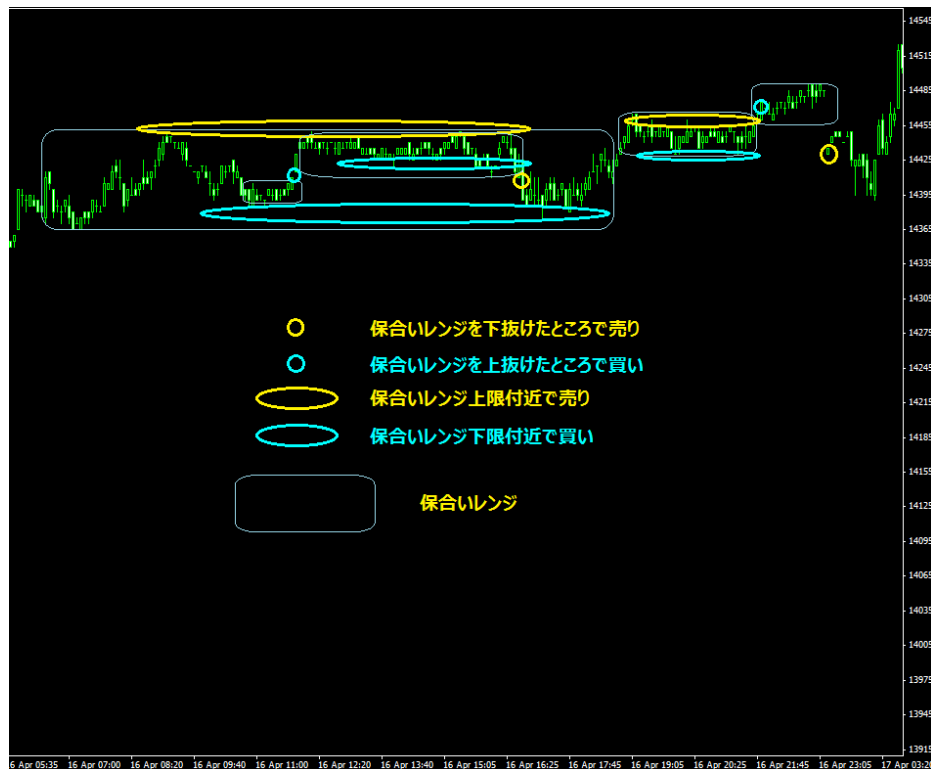
1-4. 保合い(トレンドレス)での基本戦略

保合いの時の相場では、複数のローソク足の高値や安値がほぼ同じレベルで並び、全体として横ばいのレンジを形成する事になります。従って、**保合い局面が続いている限り、この高値が集まるレベルでは売りを仕掛け、安値が集まるレベルでは買いを仕掛けることが、優位性の高いトレードを行う必須条件です。**

もし、一定期間経過後に、**それまでの高値圏を上抜けし、すぐさま押し戻されることなく高値を更新し始めるようなら、局面が上昇トレンドへ移行していると判断し、売り玉は決済し、上昇トレンドに追随するために、新たに買いを仕掛けるべきです。**

同様に、もし、一定期間経過後に、**それまでの安値圏を下抜けし、すぐさま押し戻されることなく安値を更新し始めるようなら、局面が下降トレンドへ移行していると判断し、買い玉は決済し、下降トレンドに追随するために、新たに売りを仕掛けるべきです。**

利益をたたき出すトレードルールの作り方



1-5. 相場の波に乗り続けるための基本戦略

実際のマーケットで、相場の波に乗り続けるためには、上述の基本戦略を、局面が変わるたびに、それぞれの局面に適応していくことが不可欠です。そして、より高いパフォーマンスを得るためには、より正確な状況判断ができるように、様々な工夫を取り入れることも必要です。

より正確に把握すべき項目として極めて重要なものは以下の項目です。

- ◆ 5つの局面の判定
- ◆ 局面が変化するタイミングの把握
- ◆ トレンドと短期調整の区別
- ◆ ブレイクの判定

このセミナーでは、上の目的を実現するために、次の3つのテクニカル指標を使う事とし、実戦での具体的な使い方を提案します。

- ◆ 移動平均線
- ◆ ボリンジャーバンド
- ◆ 一目均衡表